

環境経営レポート 2022



2022年度版

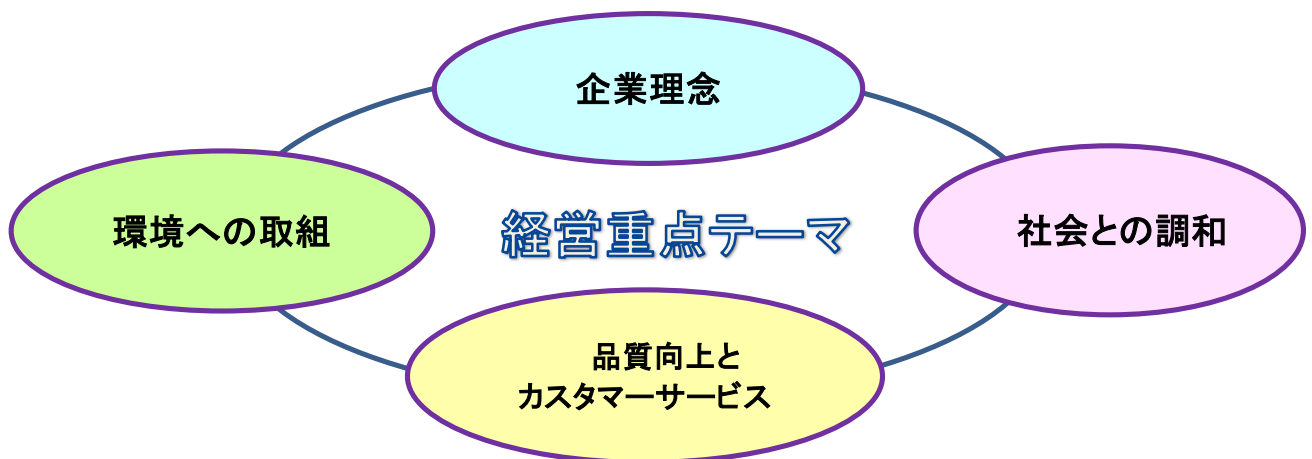
対象期間 : 2021年10月 ~ 2022年9月

発行日 : 2022年12月28日

東豊電気株式会社

1. 企業理念

「人が育つ会社」を経営理念として、企業価値向上と従業員の生活向上を追求し地域経済、環境づくりを反映した電気設備の設計施工を行いお客様が満足する製品・サービスの提供を基本方針とします。



目次

1. 経営理念	1
2. 事業及び製品・サービスの紹介	2
3. 会社概要	3
4. 環境経営の取組	5
4.1 環境経営方針	5
4.2 環境経営実施体制	6
4.3 環境経営目標とその実績	7
4.4 環境経営計画の取組内容と取組結果・次年度の取組内容	8
4.5 環境パフォーマンス及びCO2排出量の推移	9
4.6 職場の環境活動・緊急時対応訓練状況	10
4.7 環境関連法規などの遵守状況・違反、訴訟などの有無	11
4.8 代表者による全体の評価と見直し指示	11
5. 環境コミュニケーションの推進	12

2. 事業内容及び製品・サービスの紹介

■ 製品・サービス

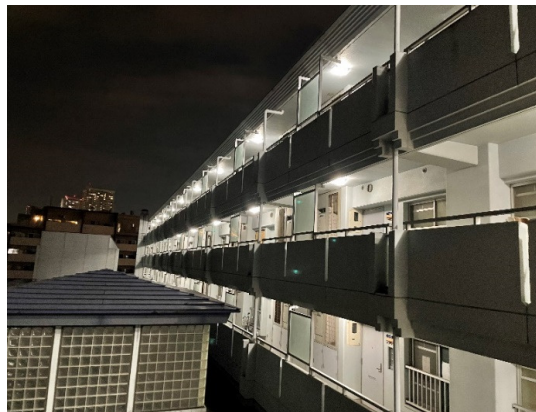
(2021/10~2022/9)

南千住六丁目第2アパートほか1団地共用灯、屋外灯、駐車場灯及びその他工事 (2022/3月)

施工前



施工後



施工前



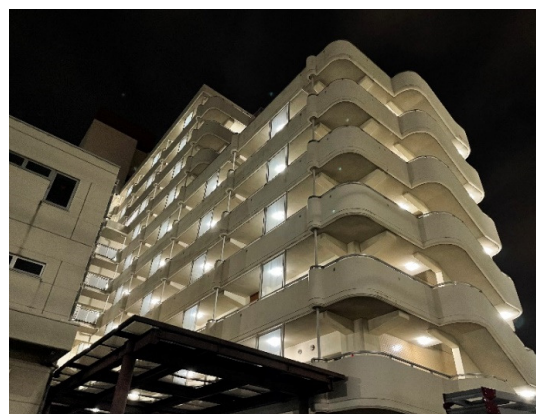
施工後



施工前



施工後



3. 会社概要

- 社名 東豊電気株式会社
- 本社所在地 東京都江東区森下1-14-10
- 代表者 代表取締役 増田 倫裕
- 事業活動 地域経済、環境づくりを反映した電気設備の設計施工
- 設立年月日 昭和49年7月24日
- 資本金 2,810万円

■ 沿革

年月	事柄
昭和49年7月	東京江戸川区にて設立
昭和51年5月	千葉県木更津市及び本社移転

年月	事柄
平成15年9月	東京都江東区住吉に本社移転
平成19年9月	東京都江東区森下に本社移転
平成26年11月	代表取締役 増田 倫裕 就任

■ 事業所

事業所名	所在地	業務内容	認証・登録範囲
本社	東京都江東区森下1-14-10	電気工事業	○
木更津支店	千葉県木更津市真舟5-1-26	電気工事業	○

■ 事業の規模

項目	単位	H30年 (2018)	R1年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)
売上高	百万円	170	309	196	217	125
従業員数	人	14	15	13	13	12
床面積	m ²	86	86	86	86	86
倉庫床面積	m ²	53	53	53	53	53

■ 事業のための許可取得状況

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	許可事業の範囲
建設業許可	東京都知事許可 (特-1)第142792	令和2年1月20日	R2.1.20～ R7.1.19	電気工事業

■ 施設保有状況

種類	設備名	型式・容量	台数
車輛等	トヨタ ハイエース	QDC-KDH21V 2.98L	1台
	トヨタ サクシードバン	DBE-NCP51V 1.49L	2台
	トヨタ トヨエース	ABE-TRY220 1.99L	1台
	トヨタ プリウス	DAA-NHW20 1.49L	1台
	ダイハツ ハイゼット	EBD-S321V 0.65L	2台

■ 取引金融機関

朝日信用金庫 猿江支店
 きらぼし銀行 深川支店

千葉銀行 錦糸町支店

■ 主な取引先

東京都 江東区 東京都住宅供給公社
 北野建設(株) ケーアンドイー(株) (学)紅陵学院
 東日本通信機器(株)

■ 事業実績 (2021/10~2022/9)

年月日	工事・製品・サービス名	
2021年10月	紅陵高 無線LAN配線	(学)紅陵学院
2021年11月	第10荒井ビル 原状回復・リニューアル工事	北野建設(株)
2021年11月	西早稲田マンション 改修プロジェクト	北野建設(株)
2021年12月	有明駅 ホームエスカレーター2号機更新工事	ケーアンドイー(株)
2022年3月	都営南千住六丁目第2アパートほか1団地共用灯、屋外灯、駐車場灯及びその他工事	東京都住宅供給公社
2022年4月	東洋瀘紙(株)品川区平塚新築工事	北野建設(株)
2022年7月	第二大島中学校 電話配線工事	協立情報通信(株)

4. 環境経営への取組

4.1 環境経営方針

環境経営方針

【企業理念】

「人が育つ会社」を経営理念として、企業価値向上と従業員の生活向上を追求し、地域経済、環境づくりを反映した電気設備の設計施工を行いお客様が満足する製品・サービスの提供を基本方針とします。

【環境経営の指針】

当社は、環境負荷の低減に向けた環境経営システムを構築して、地域環境保全に貢献すべく自主的、積極的に環境経営システムに取り組み継続していきます。

【行動指針】

次の項目に環境目標を設定して、継続的に取り組みます。

1. 動力・燃料消費量を減らして二酸化炭素排出量の削減
 - ① 事務所内における高効率蛍光灯の省エネルギー方照明器具への切替
 - ② 車両には不要な荷物は積まず、積載効率に努める
 - ③ 公共機関の積極的な利用
2. 環境関連法規、条例による法的要求事項の遵守
3. 産業廃棄物・一般廃棄物の分別徹底及び削減、再使用・再資源化の推進
 - ① 再生紙または未利用繊維への転換をはかり紙類使用量の削減を行う
 - ② 分別回収ボックスを配置することにより分別を徹底させる
 - ③ 産業廃棄物の適正な処理を行う
4. 水道使用量の削減
 - ① 節水の徹底及び漏水管理を定期的に行う
5. 環境に配慮した工事施工
 - ① 環境配慮型工法の採用と提案として化学物質の抑制及び交換提案及び処分
 - ② 安全配慮型工法の採用と提案として高所作業の安全対策としてフルハーネスの使用

【課題とチャンス】

課題

- ・ 社員の高齢化、技術力の承継
- ・ 自然災害、コロナ等感染症への備え
- ・ 取引先企業の売上減による影響

チャンス

- ・ 新規顧客による販路拡大の可能性
- ・ コロナ禍における日常の重要性を痛感することで、改めて仕事に対する意欲向上を持つ
- ・ 他業種からの就業希望の増加

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定： 2018年 4月 1日

東豊電気株式会社

改訂： 2021年 12月 8日

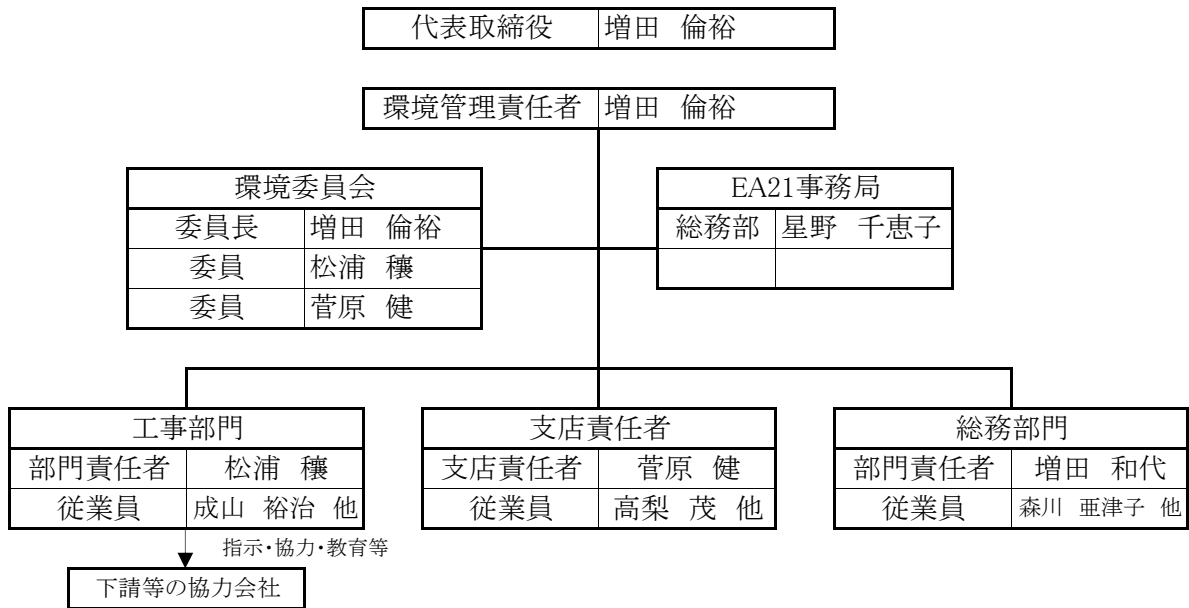
代表取締役 増田 倫裕

4.2 環境経営実施体制

■ 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 所属 代表取締役 氏名 増田 倫裕
 環境業務担当者 所属 総務部 氏名 星野 千恵子
 連絡先 住所 〒 135-0004 東京都江東区森下1-14-10
 電話 03-5600-8631 FAX: 03-5600-8633
 電子メール tohodenki@to-ho-elc.co.jp

■ 環境経営実施組織



■ 役割、責任及び権限

役職	役割、責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の制定及び社内周知 環境管理責任者の任命及び実施体制の承認 EA21全体取組状況の評価と見直し 環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 全社組織へのEA21活動実施の統括 EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 問題点の是正処置の統括 ・環境コミュニケーションの対応
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針等決定事項の社内伝達 EA21活動に関する協議、意見交換
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 EA21活動に関する事務
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ 問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 EA21活動に関する提案

4.3 環境経営目標及びその実績

経営の課題 とチャンス を踏まえた 事業施策	環境経営目標項目			基準年	年度目標			2022年度 の実績及び評価		
				2020年度 年度実績	2022 年度	2023 年度	2024 年度			
1 二酸化炭素排出量の削減	〔目標値設定率〕				基準値比 1 %削減	基準値比 2 %削減	基準値比 3 %削減	2022年度 実績値	目標 達成	削減量
	(1) 電気使用量の削減	電気	kwh	20,780	20,572	20,364	20,157	23,748		-3,176
		排出係数	0.455 kg-CO2	9,455	9,360	9,266	9,171	10,805	×	-1,445
		使用料金	¥	606,698	—	—	—	809,672		-
	(2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	ℓ	10,487	10,382	10,277	10,172	5,617		4,765
		排出係数	2.320 kg-CO2	24,330	24,087	23,843	23,600	13,031	○	11,055
		使用料金	¥	1,361,686	—	—	—	896,928		-
		都市ガス	m ³	1,408	1,394	1,380	1,366	1,308		86
		排出係数	2.160 kg-CO2	3,041	3,011	2,980	2,950	2,825	○	186
		使用料金	¥	172,156	—	—	—	202,692		-
		灯油	ℓ		0	0	0			0
		排出係数	2.490 kg-CO2		0	0	0			0
		使用料金	¥		—	—	—			-
		LPG	kg		0	0	0			0
	排出係数	3.00 kg-CO2		0	0	0			0	
使用料金	¥		—	—	—			-		
計	二酸化炭素排出量	kg-CO2	37,242	36,458	36,089	35,721	26,662	○	9,796	
	使用料金	¥	2,140,540	—	—	—	1,909,292		-	
原単位二酸化炭素排出量	売上高(百万円)		193	—	—	—	125	×	-	
	kg-CO2/百万円		193.0	191.0	189.1	187.2	213.3		-	
2. 廃棄物排出量の削減	〔目標値設定率〕				基準値比 1 %削減	基準値比 2 %削減	基準値比 3 %削減	2022年度 実績値	目標 達成	削減量
	資源使用量	kg		0	0	0			0	
	産業廃棄物	m ³	26.0	25.7	25.5	25.2	11.3	○	14	
	一般廃棄物	L	6,325	6,262	6,199	6,135	5,965	○	297	
	リサイクル資源(率)	%	8.0	8.1	8.2	8.2	2.7	×	-	
	廃棄物処理料金	¥		—	—	—			-	
3. 水使用量の削減	〔目標値設定率〕				基準値比 1 %削減	基準値比 2 %削減	基準値比 3 %削減	2022年度 実績値	目標 達成	削減量
	水使用量	m ³	311	308	305	302	297	○	11	
	使用料金	¥	78,750	—	—	—	74,180		-	
4. 環境に配慮製品・サービスの提供	環境配慮提案件数	件	12	1 %向上	2 %向上	3 %向上	2022年度 実績値			
				12.01 件/年以上	12.02 件/年以上	12.03 件/年以上	16.0 件/年以上	○	—	

※電力使用量の二酸化炭素排出(二酸化炭素換算)係数は、国が公表した令和2年度実績の電気事業者別排出係数の東京電力エナジーパートナー(株)基礎排出係数0.455kg-CO2を用いる

4.4 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

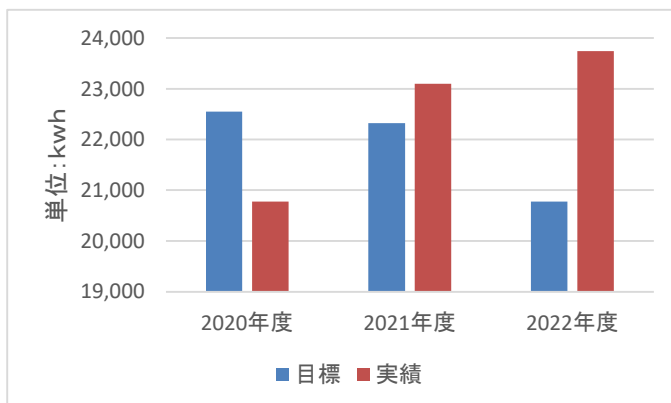
[評価基準] ○ :良くてきた △ :ある程度できた × :出来なかった

環境目標項目	具体的取組内容	推進責任者	取組結果と評価 (○△×)	次年度の取組内容 (新規取組など)
1 二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	増田	通常月に関しては基準年度と比較しても電気の使用量にさほど差はないが、やはり近年の夏・冬の極端な暑さ、寒さのためエアコンの使用量が増えていると思われる。体に影響のない程度に節電していきたい。 評価 ×	①空調管理の徹底 ②照明管理の徹底 ③高効率蛍光灯への切替 ④事務機器の徹底管理 ⑤OA機器のセーブモード・帰宅時の電源OFF
	化石燃料使用量の削減	増田	今期は残念なことに現場が減ってしまったためガソリンは減少傾向となったが、今後もエコドライブ、車両の乗り合わせなどは徹底していきたい。 評価 ○	①エコドライブの励行(燃費向上) ②ハイブリッド車・EV車の導入検討
2 廃棄物排出量削減	資源有効利用	増田	評価	
	一般廃棄物の削減	増田	マイボトル等の利用によりペットボトルは削減されていると思う。今後は紙類の削減に尽力していきたい。 評価 ○	①紙類使用量の削減 ②プラスチック類使用量の削減 ③かん・ビン類使用量の削減 ④分別の徹底
	産業廃棄物の削減	増田	今期は公共工事の現場において廃棄物が出たため 評価 ×	①分別品別保管箇所の徹底 ②繰り返し使用、別途利用 ③リサイクル工場との工程管理
	建設副産物リサイクル率向上	増田	現場において分別品保管を徹底し混合廃棄物の削減に努めたが目標を達することができなかった。 評価 ×	分別品別保管箇所の徹底をして混合廃棄物を削減する 施工方法を検討して廃棄物を削減する
3.水使用量の削減	①水使用量の削減	増田	一時コロナ対策により手洗いの回数などが増えたため水道の使用量も増えたがそれ以降は安定している。 評価 ○	①水使用量の削減
4.環境に配慮製品・サービスの提供	①環境配慮製品の提供 ②安全配慮型工法の採用と提案	増田	個人宅からの相談には環境を配慮した製品を提案を実施した。 安全配慮工法・手順書の周知は徹底するように努めた 評価 ○	①環境配慮製品の提供 ②安全配慮型工法の採用と提案

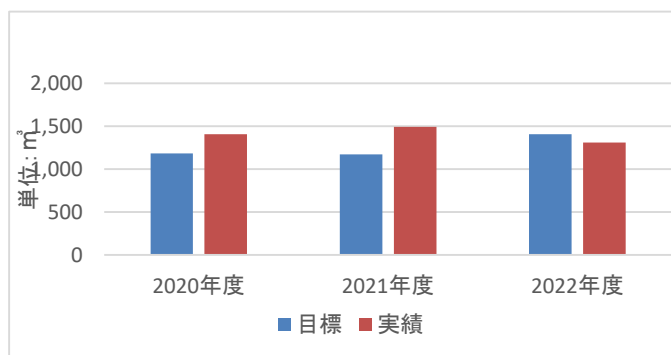
4.5 環境パフォーマンスの推移

(環境負荷状況推移のグラフ)

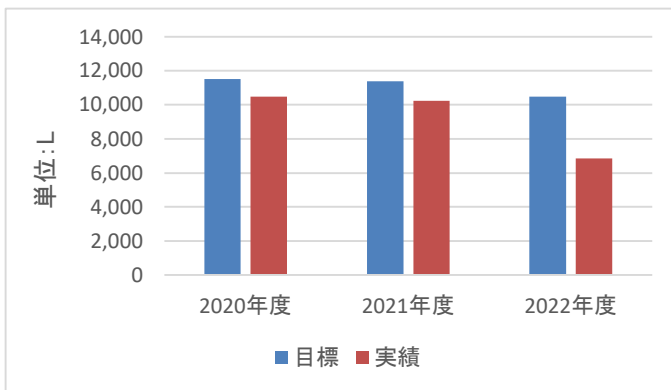
電気
使用量



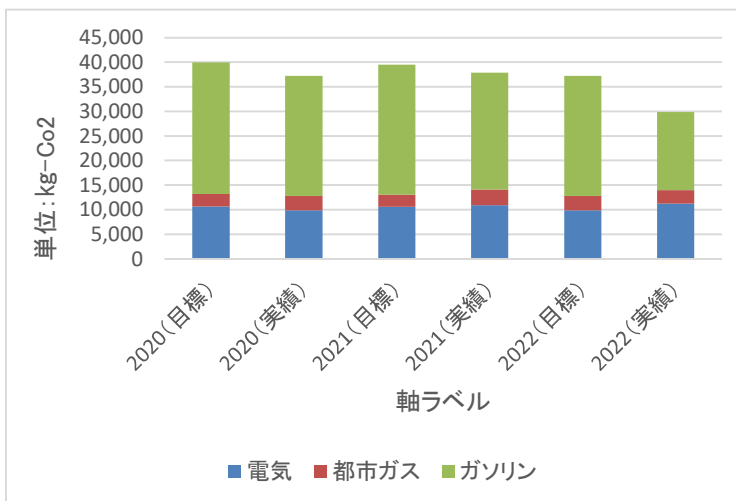
ガス
使用量



ガソリン
使用量

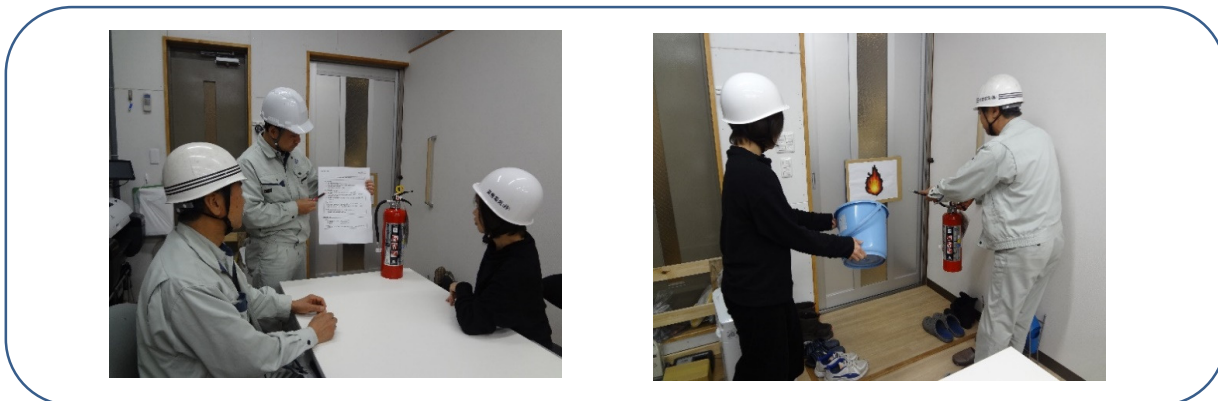


CO2
排出量



4.6 職場における環境活動・緊急時対応時訓練状況

【火災訓練】



【非常時備蓄用品】 非常時に備え最低3日分の食料・飲料水等を保存

・非常食(カップラーメン)



・飲料水



・非常食(米)



・非常食(味噌汁他)



・非常食(缶詰)



4.7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

■ 関連法規等の遵守状況

当社事業及び製品に関する主な環境関連法規等は下記の通りであり、今年度遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

遵守状況確認日 令和 4 年 11 月 25 日

主な法規名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物管理票の交付・保管	一般廃棄物を適正に分別する 産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	○
リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化	分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物について再資源化する。	○
騒音・振動	規制基準の遵守	規制基準が遵守できる騒音防止対策 規制基準が遵守できる振動防止対策	○
大気汚染	自動車から排出される排ガスの削減	排ガス基準適合車の使用	○

■ 外部からの違反、訴訟等の有無

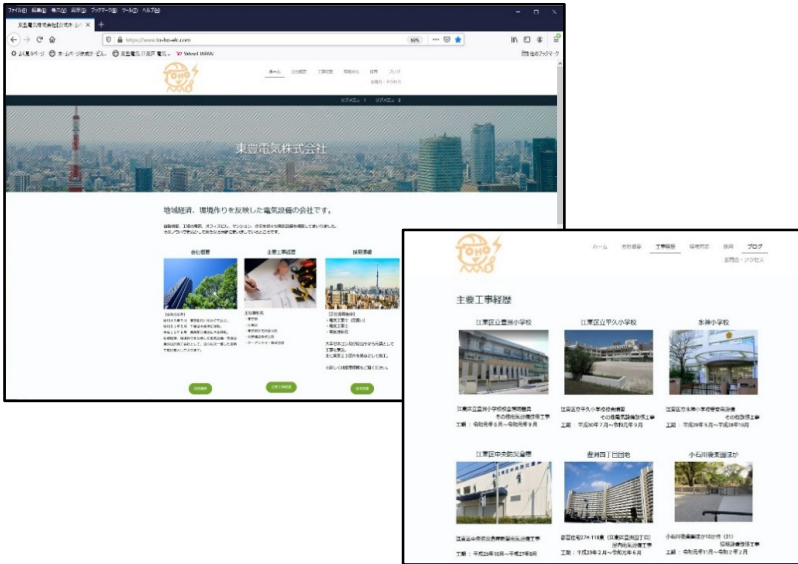
当社は、関係当局からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまで過去3年間ありませんでした。

4.8 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について以下の通り、評価と見直しを行いました。

項目	内 容		
1.見直し実施日	令和4年11月30日	(水)	
2.出席者	代表取締役、環境管理責任者、部門責任者		
3.報告した情報	①環境経営目標達成状況 ③環境関連法規等の遵守状況	②環境経営計画の実施及び運用結果 ④外部からの苦情、要望等	
4.代表者の評価	<p>コロナ禍になり会社として就業地の分散化を奨励していますので電気・都市ガス・ガソリン・水使用量がかさむ営業形態のなかにあつて都市ガス・ガソリン・水使用量が目標値を達成できたことはとても評価できると考えております。 次年度以降においてもリモートワークなどを積極的に活用し、環境経営目標達成に向け引き続き邁進いたします。</p>		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	指示の内容
	①環境経営方針	有・ 無	
	②環境経営目標	有・ 無	
	③環境経営計画	有・ 無	
	④実施体制	有・ 無	

5. 環境コミュニケーションの推進

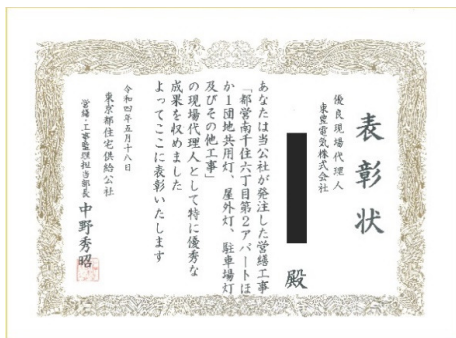


- ホームページ作成

- ホームページを作成

- 新規取引の方にまず弊社の基本情報を知っていただけるようになった。

- ブログを作成し当社からの情報発信も行った。



- 表彰

- 東京都住宅供給公社より工事内容が素晴らしかったということで現代理人が表彰されました。

